

いちほら

● 毎月1・15日の2回発行
● 発行/市原市役所
● 編集/企画部広報広聴課

2 15

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/>

〒290-8501 市原市国分寺台中央1-1-1 ☎0436-22-1111 (大代表)



かずさの道 (ちはら台・地図①)

のびやかな空間の連続が、ジョギングや散歩、通学路など、多様に使われています。適当なカーブが歩くことをさらに楽しくさせ、住民のみならず、誰もが住んでみたい気になります。桜並木などが、さらに美しい景観を形づくっています。

ふるさとを彩る街並み 都市景観賞が決定



木曜舎市原店カノン (潤井戸・地図②)

古民家を改装して、喫茶レストラン・バーとしたものですが、既成概念にとらわれず、ユニークで魅力的な空間をつくり出しています。特に隣接する竹林と連続感を持たせて、上手に景観的配慮がなされています。また、中2階には展示スペースもあり、ギャラリーとして貸し出すなど、地域のサロンとしても活用されています。

市では、美しい街並みや工物、景観への積極的な取り組みなど、いちほららしい魅力的な景観をつくり出しているものを『都市景観賞』として表彰しています。今回は、四件が都市景観賞、一件が都市景観奨励賞に決定しました。※見学の際は個人宅の敷地内に入らないでください。
問合せ先 都市景観推進室 ☎29 9838



今井邸 (不入斗・地図③)

敷地前の小川や畑、長屋門、母屋、蔵、離れ、裏の畑、裏山 など、全てが一体になって市原の原風景を伝えています。自然景観に配慮しつつ、先祖からの歴史的財産である家や庭の美観を維持し、見事に地域の景観形成に寄与しています。伝統的な住居に多少手を加えて、庭のみならず、その外周まで配慮した住人の心意気に感嘆します。



上養老橋デッキ (二日市場・地図④)

ローカル線の鉄橋とポプラ並木が、養老川の水面に映し出され、どこことなく郷愁の念を抱かせます。河川敷のシンボリックなポプラ並木や都会的な藤棚など、養老川中流域の持つ空間特性を活かした素晴らしい景観です。



廿五里の生垣
廿五里には幅一間程の細い路地に生垣を配する家々がたくさん見られます。多種類の植栽を個々の住人が楽しみながら生垣として利用し、地域共有の景観としています。

都市景観奨励賞



桜台の調整池

地域住民の『憩いの場』として安らぎを与えてくれるスポットです。水と橋も点景としてマッチし、特に春の桜と新緑の季節が美しく見えます。

